

令和6年度事業報告

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症の影響は落ち着いたものの、感染予防には引き続き万全を期し、安心安全なサービス提供と感染拡大対策費用のバランスを考慮しながら事業を推進した。

地域福祉事業では、「生活支援体制整備事業」を新たに受託し、「支え愛のまちづくり推進協議会」（え〜ど若桜）の開催による生活支援・介護予防サービスの提供体制構築に向けた情報共有・連携体制強化や社会資源マップの更新に取り組んだ。また、若桜町の地域福祉計画と合わせて第4次地域福祉活動計画（令和7年度～令和11年度）を策定した。

法人全体では、前年度に比べて収入は微増したが、支出が増加して事業活動資金収支差額は約420万円減となり、わずかに収入が支出を上回る決算となった。

収入では、障がい福祉サービス等事業収入が約400万円（16%）増加した一方、介護サービス事業では通所介護事業の介護保険事業収入が約470万円（約1割）減少した。また、前年度に引き続き交付された鳥取県物価高騰対策応援金が約84万円の減額となったほか、前年度実績に基づき交付される若桜町訪問介護サービス確保対策事業補助金は約132万円の減額となる等、補助金収入が減少した。

支出では、給料表改定によるベースアップや、法人運営事業で5月に1名、通所介護事業で3月に1名を正職員として採用したこと等により人件費が約580万円（5%）増加したほか、車両、事務機器等の賃借料（事業費・事務費）が約90万円増加する等、事業活動全体で約720万円（5%）増加した。

介護保険事業全体では、昨年度は平成27年度以来の黒字となったものの、令和6年度は補助金の減額や通所介護事業の利用減等による収入減、賃借料の増加等により約650万円の赤字となった。通所介護事業は地域密着型への移行を数年にわたって検討してきたが、今年度は1日当たり平均利用者数が地域密着型の定員である18人を下回る月が続いたため、来年度からの移行を決定した。介護サービスの需要が今後大きく増加する可能性は低いと思われるが、介護サービスを安定的に供給する体制の確保は不可欠であるため、処遇改善加算の算定に向けた準備を進めるとともに、各種加算の算定や業務改善の取組み等による収入増や効率的な運営、人材の確保・育成によるサービスの質の向上に努めた。

障がい者福祉サービス事業については、約510万円（16%）の収入増加となった。就労支援事業収入は製品販売事業収入が約100万円（約2割）増加したほか、作業所利用者に係る自立支援給付費収入は利用者の増加や報酬改定等により約480万円（約2割）増加した。一方、居宅介護等事業（ホームヘルプ）の自立支援給付費収入は利用者数・回数の減少により約4割減少した。利用者の工賃は、目標としていた3万3千円には届かなかったが、3万円は超えることができた。生芋こんにゃくの販売は約1割伸びており、工賃向上のために引き続き生産量と販路の拡大に努めていく。

1. 社会福祉協議会の機能及び組織基盤の強化

凡例 【決算書p、サービス区分番号、事業名、資金収支計算書・事業活動による支出額（補助金・受託金額）】

【決算書p42 ①法人運営事業 18,963千円（町補助金18,061千円）

前年度 16,678千円（町補助金15,985千円）】

（1）理事会

回数 開催日	出席理事	出席 監事	議案番号・審議事項・報告事項	結果
第1回 5/28	出席7人 欠席0人	2人	1.令和5年度社会福祉法人若桜町社会福祉協議会事業報告について 2.令和5年度社会福祉法人若桜町社会福祉協議会決算について 3.令和5年度社会福祉法人若桜町社会福祉協議会次期繰越活動増減 差額処理について	承認 承認 同意

			4.令和6年度社会福祉法人若桜町社会福祉協議会第1回補正予算について 5.社会福祉法人若桜町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について 6.令和6年度社会福祉法人若桜町社会福祉協議会第1回評議員会の開催について	承認 同意 承認
第2回 9/30	出席7人 欠席0人	2人	7.令和6年度社会福祉法人若桜町社会福祉協議会第2回補正予算について 8.社会福祉法人若桜町社会福祉協議会令和6年度第2回評議員会の開催について	承認 承認
第3回 12/6	出席7人 欠席0人	2人	9.令和6年度社会福祉法人若桜町社会福祉協議会第3回補正予算について 10.通常規模型通所介護事業の廃止について 11.地域密着型通所介護事業の実施について 12.社会福祉法人若桜町社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について 13.社会福祉法人若桜町社会福祉協議会非常勤職員就業規則の一部改正について 14.社会福祉法人若桜町社会福祉協議会令和6年度第3回評議員会の開催について	承認 承認 承認 承認 承認 承認
第4回 3/14	出席7人 欠席0人	2人	15.社会福祉法人若桜町社会福祉協議会職員給与規定の一部改正について 16.社会福祉法人若桜町社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について 17.社会福祉法人若桜町社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について 18.社会福祉法人若桜町社会福祉協議会非常勤職員就業規則の一部改正について 19.社会福祉法人若桜町社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の一部改正について 20.社会福祉法人若桜町社会福祉協議会第4回補正予算について 21.令和7年度社会福祉法人若桜町社会福祉協議会事業計画について 22.令和7年度社会福祉法人若桜町社会福祉協議会予算について 23.令和6年度社会福祉法人若桜町社会福祉協議会第4回評議員会の開催について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
第5回 3/20	(決議の省略)		24. 令和6年度社会福祉法人若桜町社会福祉協議会第4回補正予算の修正について 25. 令和7年度社会福祉法人若桜町社会福祉協議会予算の修正について	承認 承認

(2) 評議員会

回数 開催日	出席 評議員	出席 監事	議案番号・審議事項・報告事項	結果
第1回 6/19	出席10人 欠席0人	2人	1.令和5年度社会福祉法人若桜町社会福祉協議会事業報告について 2.令和5年度社会福祉法人若桜町社会福祉協議会決算について	承認 承認

			3.令和5年度社会福祉法人若桜町社会福祉協議会次期繰越活動増減差額処理について 4.令和6年度社会福祉法人若桜町社会福祉協議会第1回補正予算について	同意 承認
第2回 10/11	出席8人 欠席2人	2人	5.令和6年度社会福祉法人若桜町社会福祉協議会第2回補正予算について	承認
第3回 12/20	出席7人 欠席3人	1人	6.令和6年度社会福祉法人若桜町社会福祉協議会第3回補正予算について 7.通常規模型通所介護事業の廃止について 8.地域密着型通所介護事業の実施について 9.社会福祉法人若桜町社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について 10.社会福祉法人若桜町社会福祉協議会非常勤職員就業規則の一部改正について	承認 承認 承認 承認
第4回 3/25	出席8人 欠席2人	2人	11.社会福祉法人若桜町社会福祉協議会第4回補正予算について 12.令和7年度社会福祉法人若桜町社会福祉協議会事業計画について 13.令和7年度社会福祉法人若桜町社会福祉協議会予算について	承認 承認 承認

(3) 監査会

開催日	出席者	監査内容	
5/20	監事2人、副会長、事務局2人	令和6年度第1回内部監査	令和5年度事業実施状況及び財務状況監査
11/26	監事2人、会長、副会長、事務局2人	令和6年度第2回内部監査	令和6年度上半期事業実施状況及び財務状況監査

(4) 評議員選任・解任委員会

開催日	出席委員数	審議事項

(5) 役員等会議、研修会

開催日	出席者	研修名・会議名	場 所
6/2	会長、職員2人	地域福祉県民講座 第46回緑陰大学	湯梨浜町
6/14	会長、理事1人、評議員1人、職員2人	市町村社協役員セミナー「BCP 策定基礎研修」	オンライン
8/2	会長、局長	東部地区社会福祉協議会会長会	八頭町
9/12	会長、理事1人、育成会1人、職員2人	県民総合福祉大会	米子市
9/30	会長、理事8人	令和6年度表彰審査会	地域福祉センター
3/13	会長、局長	東部地区社会福祉協議会会長会	八頭町

(6) 社会福祉協議会員と会費

	件 数			金 額 (円)			金額／件	
	5 年度	6 年度	増減	5 年度	6 年度	増減	5 年度	6 年度
一般会費	920	884	△36	1,090,050	1,057,600	△32,450	1,184	1,196
賛助会費	100	101	1	386,200	386,400	200	3,862	3,826
合 計①	1,020	985	△35	1,476,250	1,444,000	△32,250	1,447	1,466
世帯数 (7 月) ②	1,274	1,258	△16	※あすなろ入所世帯 (16 世帯) は除く				
納入率	80.9%	78.3%	△2.6%	※納入率＝①/ (②－15) ×100				

(7) 地域福祉活動計画の推進

- ・住民ニーズに沿った第3次若桜町地域福祉活動計画の推進、評価
- ・第4次地域福祉活動計画（令和7年度～令和11年度）の策定
地域課題の収集を目的にヒアリングシートを作成し、サロン訪問時や自治会支え愛マップ更新時に聞き取りを9か所で実施した。

(8) 職員の資質向上

- ・計画的な内部研修の実施及び外部研修への参加
感染症対策、業務継続計画（BCP）、虐待防止・身体拘束適正化等に係る研修計画を各課・係で作成し、定期的な研修を実施したほか、外部研修を随時受講した。
今年度は、通所介護事業の職員3名が7月に町内通所介護事業所の視察研修を行った。
- ・職員の意識改革とコンプライアンスの強化
職員全体に向けた研修のほか、適切な会計実務を行うため、会計職員2名が社会福祉法人会計実務研修会（中級編）を受講したほか、係長以上の職員からなる毎月の定例連絡会において、決算状況についての勉強会を実施した（5月14日）。

○全体向けの研修

開催日	研修名	内 容	出席者
5/30	メンタルヘルス研修 (オンライン)	「職場のメンタルヘルス」～知っておきたい精神疾患の理解と対応～ 講師：おかだ内科副院長／鳥取産業保健総合支援センター メンタルヘルス担当相談員 岡田 浩子 氏	8 人
6/13	「職場環境改善研修」 コミュニケーション 研修 (オンライン)	新人職員、中堅・管理職員のための「コミュニケーション研修会」 講師：(株) 話し方教育センター 伊丹 朋子 氏	2 人 (新人職員のみ)
6/18	メンタルヘルス研修 (オンライン)	①チームパフォーマンス向上につながるメンタルヘルスサポート、②復職および職場定着支援について 講師：キャリアバード代表／鳥取産業保健総合支援センター カウンセリング担当相談員 上田 美鈴 氏	7 人
9/11	ハラスメント防止研修	ハラスメント防止研修～働きやすい職場を目指して～ 講師：鳥取県中小企業労働相談所みなくる 労働・雇用 相談員／鳥取産業保健総合支援センター メンタルヘルス対策・両立支援促進員 鈴木 直子 氏	24 人

9/17	ハラスメント防止セミナー（外部研修）	「職場でも大切なコミュニケーション」 ～対人トラブルの回避術～ 講師：公認心理士 安田 拓歩 氏	2 人
9/24、10/3	ハラスメント防止研修	(9/11 研修) 伝達研修 伝達者：睨局長	5 人
9/6～9/20	人権研修（DVD 視聴）	「今企業に求められる「ビジネスと人権」への対応」	11 人
9/26	人権問題公開学習講座（外部研修）	障がいのある方の人権「国立ハンセン病療養所に勤務して、人権について思う事」 講師：社会福祉法人就労継続支援施設パレアナの家 所長 西垣 和良 氏	7 人
10/17	人権問題公開学習講座（外部研修）	「災害時の防災に係る女性の人権」 講師：男女共同参画センター 男女共同参画推進 コーディネーター 澤田 真美 氏	8 人
11/12	人権問題公開学習講座（外部研修）	「高齢者の人権」助けられ上手になりませんか 講師：鳥取市人権情報センター 主任研究員 福壽 みどり 氏	7 人
12/17	「職場環境改善研修」 メンタルヘルス研修会（オンライン）	対人援助職に効く人と折り合う流儀 ～職場での上手な人間関係の築き方～ 講師：鳥取大学大学院医学系研究科 教授 竹田 伸也 氏	3 人
2/26～3/5	コンプライアンス研修（動画視聴）	コンプライアンス研修 ～総論～ 配信：福岡の弁護士 山田総合法律事務所	26 人

○社協内部連携強化会議（情報共有）

- ・毎月係長以上の会議の開催
- ・各係で月例ミーティングを開催

○外部研修、会議等

＜総務、地域福祉関係＞

開催日	研修・会議名(会場等)	出席者
4 10	生活支援体制整備事業について県社協来所(ドリーミー)	睨局長、中村課長、津崎主任
4 11	令和6年度若桜町同和教育推進協議会定期総会(若桜町公民館)	津崎主任
4 16	市町村老人クラブ連合会事務局担当者会議(倉吉市)	車井主事
4 19	日常生活自立支援事業 担当者研修(倉吉市)	津崎主任
4 24	令和6年度生活福祉資金市町村社協担当職員事業説明会(オンライン)	平木係長、津崎主任
5 9	若桜町同和教育推進協議会 第2回企業部会(若桜町公民館)	津崎主任
5 16	令和6年度第1回鳥取県生活支援コーディネーター研修(倉吉市)	津崎主任、門脇主事
5 17	支え愛ネットワーク構築事業・生活支援体制整備事業関係者連絡会(若桜町保健センター)	中村課長、津崎主任、門脇主事

5	21	支え愛マップ更新のためのまち歩き(屋堂羅)	津崎主任、門脇主事
5	25	支え愛マップ更新(屋堂羅)	津崎主任、門脇主事
5	30	第1回日援専門員連絡会(鳥取市)	津崎主任
6	4	令和6年度市町村社会福祉協議会新任職員研修1日目(倉吉市)	車井主事、門脇主事、井口主事
6	16	令和6年度市町村社会福祉協議会新任職員研修2日目(倉吉市)	車井主事、門脇主事
6	27	鳥取県東部地区社協職員連絡協議会総会(八頭町)	巖局長、車井主事
6	29	自治会訪問『石川県災害ボランティアセンター運営支援報告会』(糸白見)	津崎主任、門脇主事
6	29	若桜町ボランティアセンター推進協議会(ドリーミー)	局長、中村課長、車井主事
7	3、4	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程【初任者コース】(鳥取市)	門脇主事
7	4	令和6年度 生活困窮者自立支援事業圏域別担当者連絡会(鳥取市)	平木係長、津崎主任
7	7	サロン訪問 神童の里、三倉サロン(三倉公民館)	門脇主事
7	10	サロン訪問 西町たんぼぼの会(西町公民館)	津崎主任、門脇主事
7	11	支え愛マップ更新(上高野) ※自治会長訪問のみ	津崎主任、門脇主事
7	17	社会福祉法人会計実務研修会～初級編「第1回」～(オンライン)	津崎主任
7	18	令和6年度県社協日援事業巡回訪問(地域福祉センター)	中村課長、津崎主任
7	18	食事サービス食中毒発生防止研修会(ドリーミー)	車井主事
7	22	支え愛マップ更新(新町) ※自治会長訪問のみ	門脇主事
7	22	令和6年度鳥取地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会(鳥取市)	平木係長
7	25	第2回日援専門員連絡会(鳥取市)	津崎主任
7	28	サロン訪問 赤松自治会(赤松集落)	津崎主任、門脇主事
7	30	鳥取市中央人権福祉センターによる麒麟のまち孤独・孤立対策推進事業についての事業説明および事業推進に関する協議(若桜町役場)	平木係長
7	31	令和6年度 成年後見制度関係機関研修会(倉吉市)	平木係長
7	31	「とっとり方式認知症予防プログラム」リーダー養成研修会(鳥取市)	車井主事
8	1	地域文化伝承館説明会(鳥取市)	車井主事
8	7	第1回支え愛のまちづくり推進協議会(えーど若桜)(ドリーミー)	中村課長、津崎主任
8	9	生活困窮者自立支援統計システム研修会(担当者連絡会)(倉吉市)	平木係長
8	16	サロン訪問 赤松グランドゴルフ同好会(八幡広場)	津崎主任、門脇主事
8	20	第1回市町村共同募金委員会担当者会議(倉吉市)	平木係長
8	22	第1回麒麟のまち孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム会議(鳥取市)	平木係長
8	23	若桜町老人クラブ連合会ふれあい交流会(倉吉市)	門脇主事
8	27、28	コミュニティソーシャルワーク研修(オンライン)	門脇主事
9	3	成年後見実務者研修会(鳥取市)	津崎主任
9	3	健康づくり・介護予防活動研修会(倉吉市)	車井主事
9	5、6	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程【チームリーダーコース】(倉吉市)	津崎主任

9	8	支え愛マップ更新(浅井)	門脇主事
9	11	東部地区老人クラブ連合会研修会(八頭町)	車井主事
9	12	県民総合福祉大会(米子市)	会長、副会長、平木係長、 門脇主事
9	17	市町村社協ボランティアコーディネータースキルアップ研修会(倉吉市)	津崎主任
9	19	鳥取県東部4町障害者地域生活支援協議会 講師(八頭町)	津崎主任
9	26	第3回日援専門員連絡会(鳥取市)	津崎主任
10	6	支え愛マップ更新(香田)	津崎主任、門脇主事
10	6	サロン訪問 浅井自治会(浅井公民館)	津崎主任
10	7	日常生活自立支援事業 第1回内部審査会(ドリーミー)	外部委員2名、巖局長、 岡本次長、中村課長、守 部主任、津崎主任
10	8	第2回生活支援コーディネーター研修(倉吉市)	津崎主任
10	9	サロン訪問 西町たんぼぼの会(西町公民館) *高校生職場体験1名	津崎主任
10	11	令和6年度支え愛マップづくりインストラクター養成研修(倉吉市)	門脇主事
10	17	令和6年度 生活困窮者自立支援制度人材育成研修(都道府県研修)③、日 常生活自立支援事業生活支援員地区別研修会併催(鳥取市)	平木係長、津崎主任 生活支援員1名
10	18	令和6年度 生活困窮者自立支援制度支援ツール活用セミナー(オンライン)	平木係長、津崎主任
10	23	日本司法支援センター鳥取地方事務所 2024年度 地方協議会(オンライン)	平木係長
10	29	若桜町ボランティアセンター推進協議会(ドリーミー)	局長、中村課長、車井主事
10	29	社会福祉法人会計基準の基礎～初級編『第2回』～(オンライン)	津崎主任
10	31	(日常生活自立支援事業)利用料に関する意見交換会(倉吉市)	津崎主任
11	5	令和6年度 地域貢献セミナー(倉吉市)	平木係長
11	11	令和6年度 地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業 麒麟のまち支援職つながり交流会(鳥取市)	平木係長、門脇主事
11	14	麒麟のまち 食支援プラットフォーム推進研修会・会議(鳥取市)	平木係長
11	15	令和6年度第1回地域ケア会議(若桜町保健センター)	岡本次長、津崎主任
11	18	サロン訪問 大炊サロンの会 *支え愛マップ更新(大炊)	津崎主任、門脇主事
11	22	令和6年度ご近所ふれあいサロン世話人交流会(ドリーミー)	平木係長、津崎主任
11	24	サロン訪問 神童の里、三倉サロン(三倉公民館)	津崎主任
11	25	令和6年度 生活困窮者自立支援推進会議(倉吉市)	平木係長
11	26	地域のつながりを考える講演会令和6年度支え愛マップづくり関係者連絡会 (オンライン)	門脇主事
11	26	福祉避難所の設置・運営に関する実務研修(倉吉市)	車井主事
11	28	サロンふれあいの里(若桜町公民館)	車井主事、津崎主任 門脇主事、志水非常勤
12	3	社会福祉法人会計基準の基礎～中級編～(オンライン)	中村課長、津崎主任

12	6	令和6年度地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制整備に関するセミナー(鳥取市)	門脇主事
12	12	生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援業務に係る市町村社協担当職員研修(倉吉市)	門脇主事
12	20	生活困窮者自立支援制度人材育成研修(都道府県研修)④(倉吉市)	平木係長
12	24	日常生活自立支援事業 第2回内部審査会(ドリーミー)	外部委員1名、巖局長、岡本次長、中村課長、守部主任、津崎主任
1	16	ICT活用セミナー(オンライン)	中村課長、門脇主事
1	17	令和6年度第2回地域ケア会議(若桜町保健センター)	岡本次長、津崎主任
1	22	令和6年度権利擁護セミナー(倉吉市) *生活支援員2名	中村課長、津崎主任
1	24	令和6年度 第3回えんくろり事業相談員連絡会(湯梨浜町)	平木係長
1	30	第5回日援専門員連絡会(鳥取市)	津崎主任
2	12	令和6年度第2回『支え愛のまちづくり推進協議会(え〜ど若桜)』(ドリーミー)	津崎主任、門脇主事
2	13	食事サービス意見交換会(ドリーミー)	中村課長、車井主事
2	14	『PDCA サイクルに沿った取組の推進に資する研修会』(オンライン)	津崎主任
2	17	令和6年度第6回事業者ネットわかさ(ドリーミー)	大坪係長、青木係長、津崎主任、門脇主事
2	20	令和6年改正育児・介護休業法対応「柔軟な働き方」義務化対策セミナー(オンライン)	平木係長
2	20	令和6年度法人後見に関する意見交換会(オンライン)	中村課長、津崎主任
2	26	令和6年度第2回市町村共同募金委員会担当者会議(オンライン)	平木係長
3	3	令和6年度第2回市町村ボランティアセンター連携強化会議(倉吉市)	車井主事
3	7	「重層的支援体制整備事業」勉強会第2弾(倉吉市)	津崎主任、門脇主事
3	10	令和6年度福祉教育推進セミナー(鳥取市)	車井主事
3	10	コミュニティソーシャルワーク研修3日目(鳥取市)	門脇主事
3	11	令和6年度第3回鳥取県生活支援コーディネーター研修(倉吉市)	津崎主任
3	11	とっとり地域支え合い推進フォーラム2025(倉吉市)	津崎主任
3	13	令和6年度 麒麟のまち食支援プラットフォーム推進会議(鳥取市)	平木係長
3	14	第3回麒麟のまち孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム会議(オンライン)	平木係長
3	15	令和6年度支え愛マップづくり実践事例報告会・事務連絡会(オンライン)	門脇主事
3	18.19	令和6年度市町村社会福祉協議会中核職員研修会(倉吉市)	津崎主任
3	24	日常生活自立支援事業 第2回内部審査会(ドリーミー)	外部委員2名、巖局長、岡本次長、守部主任、中村課長、津崎主任
3	28	サロン訪問 ふれあいサロン中原(中原公民館)	津崎主任

<介護サービス関係>

開催日	研修名 ・ 会議名 (会場等)	出席者
6 24	認知症のケア技法「ユマニチュード」(動画視聴)	岡本次長
8 27	介護支援専門員更新研修①(オンライン)	大坪係長
8 29	主任介護支援専門員更新研修(eラーニング)	大坪係長
9 1	介護支援専門員更新研修(eラーニング)	大坪係長
9 2	介護支援専門員更新研修(eラーニング)	大坪係長
9 4	介護支援専門員更新研修(eラーニング)	大坪係長
9 6	若桜町高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会(保健センター)	岡本次長
9 7	介護支援専門員更新研修(eラーニング)	大坪係長
9 11	介護支援専門員更新研修(eラーニング)	大坪係長
9 13	介護支援専門員更新研修(eラーニング)	大坪係長
9 17	介護支援専門員更新研修(eラーニング)	大坪係長
9 20	介護支援専門員更新研修②(オンライン)	大坪係長
9 22	介護支援専門員更新研修(eラーニング)	大坪係長
9 25	介護支援専門員更新研修(eラーニング)	大坪係長
9 30	福祉サービス苦情解決事業研修会(オンライン)	大坪係長
10 3	介護支援専門員更新研修③(オンライン)	大坪係長
10 7	介護支援専門員更新研修(eラーニング)	大坪係長
10 10	安全運転運行管理者講習(鳥取市)	岡本次長
10 16	介護支援専門員更新研修(eラーニング)	大坪係長
10 18	介護支援専門員更新研修④(オンライン)	大坪係長
10 20	認定調査員現任研修(オンライン)	岡本次長、青木・大坪係長
10 24	令和6年 鳥取県サービス提供責任者研修 1日目(倉吉市)	山本主任
10 25	令和6年 鳥取県サービス提供責任者研修 2日目(倉吉市)	山本主任
10 31	介護支援専門員更新研修⑤(オンライン)	大坪係長
11 12	若桜町社協・智頭町社協合同ケアマネ研修会(ドリーミー)	岡本次長、大坪係長
4月~3月	隔週水曜日 介護認定審査会(オンライン)	岡本次長
年4回	東部地区在宅医療介護連携推進協議会 住民啓発ワーキンググループ(オンライン)	大坪係長

<障がい福祉サービス関係>

開催日	研修・会議名(会場等)	出席者
5 27	エール(鳥取県発達障がい者支援センター)勉強会(ドリーミー)	守部主任、西垣・井口主事、湯川嘱託
5 30	振興センター総会 工賃向上講演会(米子市)	守部主任
5 31	東部4町障がい者地域生活支援協議会(八頭町)	守部主任
5 28	工賃向上就労支援事業 人づくり研修・基礎編(鳥取市)	西垣主事
7 8	虐待防止研修(オンライン)	守部主任

8	10	自閉症・発達障がい基礎理解研修会(オンライン)	守部主任、西垣・井口主事、湯川囑託、木田非常勤
8	26	エール(鳥取県発達障がい者支援センター)勉強会(ドリーミー)	守部主任、西垣・井口主事、湯川囑託
9	5	苦情受付担当者研修会(ドリーミー)	守部主任
9	6	若桜町高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会(保健センター)	守部主任、湯川囑託
9	20	新規採用 虐待防止・身体拘束適正化研修(オンライン)	清水非常勤
11	25	エール(鳥取県発達障がい者支援センター)勉強会(ドリーミー)	清水係長、守部主任、西垣・井口主事
12	9	工賃向上就労支援事業 人づくり研修・中級編(鳥取市)	清水係長、井口主事
12	10	工賃向上就労支援事業 人づくり研修・中級編(米子市)	守部主任、西垣主事
1	28.29	サービス管理責任者等(実践)研修(倉吉市)	守部主任
2	18	エール(鳥取県発達障がい者支援センター)勉強会(ドリーミー)	清水係長、守部主任、西垣・井口主事
3	7	食品関連企業向けHACCPと衛生管理セミナー(鳥取市)	守部主任
3	28	虐待防止委員会(ドリーミー)	守部主任、井口主事

(9) 苦情相談体制の充実

苦情相談窓口及び目安箱を設置し、地域住民やサービス利用者からの苦情や意見等への迅速な対応を心がけるとともに、再発防止に向けた取組みを実施した。

・相談内容及び解決結果

① 作業所の受託作業への指摘について 7月1日受付

受託作業の依頼先より、依頼作業である衣服の糸切の糸の残が多いと言われた。利用者が糸を切った箇所を職員が検品しているが、見逃してしまったもの。

謝罪の上、より一層気を付けて確認するよう、職員に周知徹底した。

② デイサービス利用者への医療処置の誤りについて 10月21日受付

デイ看護職員の処置(ストーマパウチ交換)の際に、パウチの面板貼付部のフィルムを剥がさずにつけており、フィルムが擦れて痛みがあった。利用者のご家族が自宅で装具交換し対応された。

利用者及びご家族へ謝罪の上、職員で再発防止について検討し、防止策(入浴介助で時間的に余裕がない時は、他の職員に協力してもらい、看護職員は落ち着いて処置にあたれる環境をつくる。処置後に本人へ違和感等ないか確認する。)を実施している。

※ストーマパウチ・・・人工肛門・人工尿管(ストーマ)からの排泄物をためる袋状の装具

③ デイサービスの利用者連絡ノートの記載内容誤りによる不信感について 10月24日受付

担当ケアマネジャーがモニタリングのため利用者宅を訪問した際、デイサービスの連絡ノートに実施したレクリエーションとは異なる内容が記載されていたことに不信感があると伝えられた。参加者が少なかったため急遽レクリエーション内容を変更したが、連絡ノートは変更前の内容のままだった。

利用者へ謝罪の上、再発防止について職員で検討し、利用者ノートのレクリエーション内容記入欄は変更に対応できるよう午後記入するとともに、書き換え忘れなどでも不快に思われる利用者もおられることを職員全体で共有し、他にも苦情に繋がる要因はないか考え、よりよいサービス提供に努める。

・苦情処理報告会 令和7年3月26日

第三者委員(2名)に苦情や事故の内容や原因、対応策等について報告し、助言をいただいた。

・苦情解決事業研修会への参加

開催日	会議名	開催場所	出席者
9/26	福祉サービス苦情解決事業研修会	地域福祉センター(オンライン)	第三者委員1名、局長、中村課長、大坪係長、平木係長、守部主任

(10) 事故防止の取組み

介護サービス及び障害福祉サービスに係る事故のうち、事故報告事務取扱要綱等の規定に基づく若桜町及び指定権者（鳥取市）へ報告が必要なものはなかった。（前年度：2件）

事故及び事故につながるおそれのある事例については、事故の具体的内容や対象者・ご家族への対応、再発防止に向けた原因の分析と対策等について報告し、職員が情報共有して再発防止に取り組んでいるが、昨年度の6件（うち作業所3件、通所介護2件、訪問介護1件）に比べて件数が大幅に増加し、19件（うち通所介護12件、訪問介護3件、居宅介護支援2件、居宅介護1件、作業所1件）となった。

特に通所介護で増加したが、人員基準は満たしていたものの、11月中旬から2月末まで職員の異動や病気休暇、退職等により負担が増え、精神的にも動揺や焦りが生じていたことや、特に見守りが必要な利用者が昨年度より増加したこと等が原因と思われる。3月から常勤職員2名を増員し職員体制は改善できたが、来年度は事故防止に向けた取組をよりいっそう進める必要がある。

番号	日付	事故内容	原因	再発防止策・対応等
1	4/5	【訪問介護】訪問予定表に誤りがあり、訪問(支援)漏れが生じた。	2、10	同日、訪問(支援)した。 予定表作成時にサービス提供表と合わせて、二人で読み合わせて確認する。
2	4/19	【通所介護】デイルーム内を歩いていた利用者がバランスを崩し転倒された。付近の職員がふらつきに気づき体を支えたが、間に合わなかった。数日前から肛門に痛みがあり、歩行時の不安定さがあった。	7、10	利用者の健康状態をより注意深く観察し、転倒のリスクが高まっていると考えられる場合は、寄り添い歩行介助を行うようにする。
3	8/5	【通所介護】入浴中、一般浴槽の手すりをもち、肩まで浸かった利用者が体の位置を自分で動かされたところ、足が滑って姿勢を崩され、横向きに体が浮いてしまった。すぐ職員が駆け寄り体勢を戻したが、湯を少し飲み咳き込まれた。	10	足の踏ん張りがきかず、姿勢を崩されたため、浴槽内の足元に滑り止めマットを敷いた。
4	9/4	【居宅介護】利用休止日の確認が不十分だったため、訪問(支援)漏れが生じた。	2	訪問後のファイルはその日の内に確認するとともに、カレンダーなどを使用し家人と訪問日の共有を行う。
5	9/18	【訪問介護】入浴介助中、ホルダーが使えないため蛇口の上に置いていたシャワーヘッドが滑り落ち、利用者の右足の甲に当たってしまった。	10	シャワーヘッドは蛇口の上に置かず、落下防止のため床などに置く。(軽症。本人希望により受診なし)
6	9/24	【作業所】利用者が施設外作業(商品の売価チェック)中、高い棚の商品を片方の手で取った際にパッケージを破損させてしまった。	2、7	取りづらい商品は両手で取るよう、利用者に再度助言する。
7	10/7	【通所介護】デイルーム内で利用者がふらつき、バランスを崩して尻もちをついた。(怪我なし)	2、10	利用者の日々の状態に注意し、転倒リスクが高まっている利用者には、できる限り寄り添い、歩行介助する。
8	12/5	【通所介護】車いすからベッドへ移ろうとした利用者が車いすからずり落ちた(怪我なし)。転倒リスクの高い利用者に職員の注意が向き、当該利用者に注意が向いていなかったこと、事務机周辺に段ボール等を積んでおり、周りが見えにくかったことが要因だった。	1、2、3	利用者の席配置を再検討し、見守り職員の視界に利用者を入りやすくするとともに、呼び鈴を用意し、ベッドに移動する際は職員を呼んでもらうよう改めた。
9	12/6	【通所介護】A利用者の介助中、入浴更衣中のB利用者が肌着姿でトイレに行こうとされ、ズボンで	3、6	利用者持ち物に名前が記入してあるか確認する。

		けでもはいてもらおうと焦ってしまいA利用者の衣類をB利用者へ間違えて渡した。間違いに気づきB利用者へ交換を依頼したが、自分のものと思い込まれその場で交換できなかった。		トイレに急に行きたくなった利用者に対して、被れる袖付きガウンを備えた。
10	12/11	【通所介護】利用者の連絡ノートをケースに入れた後、当該利用者の排泄があり記録するために取り出し、その後連絡ノートを入れ間違えてしまった。	2,3,6	連絡ノートを連絡ノート入れに入れる際には、きちんと名前の確認を行う。焦っている時ほど確認を怠らないようにする。
11	12/21	【通所介護】請求領収書入りの封筒を利用者のケースに入れる際、封筒が重なっていたことに気づかなかったため、別の利用者への請求領収書も入れてしまった。	2	利用曜日ごとに、封筒を互い違いにしてクリップでとめておき、職員2名でダブルチェックしてケースに入れる。
12	1/21	【居宅介護支援】利用者の入院先病院への入院時情報提供書を別の病院へ誤送信した。 (入院先はかかりつけ病院ではなかったが、かかりつけ病院と思い込んでしまった。)	2	入院時情報提供書の送信前に、入院先病院に送信する旨を連絡して確認する。
13	1/28	【訪問介護】訪問時間の変更があったが、当日訪問予定を確認していなかったためヘルパー利用者宅への訪問が遅れた。	2	毎朝、訪問前にその日の訪問先確認を実施する。共有の訪問予定表にも訪問先の変更点を記入する。
14	2/4	【通所介護】利用者宅へ迎えに行った際、玄関先で立ち上がろうとされた利用者が手すりを掴めず転倒した。(怪我なし)	5,11	利用者の状態に応じて、必要があれば2人体制で迎えに行き介助する。
15	2/5	【通所介護】トイレに行こうとされた利用者が近くの(他利用者の)押し車に躓き転倒された。(怪我なし)	3,6	押し車を使用される利用者とその他の利用者で座る位置を分ける。
16	2/15	【通所介護】送迎時、利用者宅敷地内の道が凍結しており、歩行の付き添いはしていたが、腰を支えておらず咄嗟の対応ができなかったため、滑った利用者が尻もちをつかれた。(怪我なし)	5,6	路面凍結時や歩行不安定時は、職員が体を支える介助を行う。
17	3/19	【居宅介護支援】デイサービス利用者ご家族から、通常の利用日のほかに追加利用の希望を伝えられたが、デイサービスへ差替のサービス提供表を渡しておらず、連絡もしていなかったため、当日お迎えに行かず利用していただけなかった。	11	予定外の利用希望があればただちにメモをデイサービスに手渡し、その後、サービス提供表の差替を確実にを行う。また当該利用予定の前日に再度、デイサービスに利用予定の確認を行う。
18	3/24	【通所介護】利用者の交換用のストーマパウチを準備中、使用していたハサミの先がパウチにあたっしまい、約2cmパウチが傷ついた。 ※ストーマパウチ…排泄物をためる袋状の装具	1,6,10	ハサミで切る部分に常に指をあて、パウチが密着していないことを確認しながら切る。手順・安全性を再度確認する。
19	3/26	【通所介護】机の右側に座られていた利用者が勢いよく椅子から立ち上がった際、椅子が後ろへ動きすぎて、転倒された。職員2名が近くにいたが、他の利用者の介助中だった。(怪我なし)	10,11	当該利用者に滑りにくい椅子を利用していただくとともに、手前に机を配置する。当該利用者が移動される時は、見守り、付き添いを行う。

※ うち通院・入院治療を要したもの…該当なし ※ うち若桜町及び指定権者に報告したもの…該当なし

【原因】 1. 見えにくかった 2. 気づかなかった 3. 気を取られていた 4. 特に気にならなかった 5. 難しくやりにくかった

6. あせっていた 7. 気がゆるんでいた 8. よく知らなかった 9. 体調がよくなかった 10. 普段通りの慣れた行動 11. その他

(11) 業務継続に向けた取組の強化

- ・感染症発生時及び非常災害時におけるサービス継続提供体制の構築
- ・業務継続計画(BCP)の見直し
- ・定期的な研修及び訓練の実施
 - 7月16日 係長会議にて業務継続計画(感染症関係)の説明及び見直しを実施
 - 8月21日 居宅介護係及び訪問介護係への業務継続計画(新興感染症/自然災害)研修
 - 8月22日 障がい福祉係への業務継続計画(新興感染症)研修
 - 9月2日 総務福祉係への業務継続計画(新興感染症)研修
 - 11月6日 BCP(自然災害)シミュレーション訓練(発電機使用訓練)
細田電機さんの指導等のもと、社協の発電機を始動する訓練を実施。
 - 11月11日 BCP(新興感染症等)シミュレーション訓練および感染症予防研修
研修)感染症を予防する基礎知識と安全衛生対策について
講師:介護労働安定センター 渡部 一恵 氏
訓練)手洗い実施訓練
手洗いチェッカーを使用して洗い残しを確認し、今後の手洗いに活かす。
 - 3月22日 総務福祉係、障がい福祉係、通所介護係への業務継続計画(自然災害)研修、
～28日 通所介護係への業務継続計画(新興感染症)研修

(12) 虐待防止・身体拘束適正化体制の充実

- ・虐待防止対策委員会 令和7年3月28日
- ・虐待防止・身体拘束適正化に係る研修の定期的な開催
新規採用職員(非常勤職員含む)には随時研修実施。
外部研修の受講案内を行い、随時受講した。
全職員対象の研修 令和7年2月1日～2月28日 各課でオンライン研修を受講
- ・自己点検チェックシートを全職員対象で実施 (7月31日～8月9日)
係ごとに振り返りを実施し、課題の共有、改善策について協議した。

(13) 感染症予防

- ・感染症に対する予防・対策の充実と徹底と蔓延の防止
手指消毒やマスクの着用、体調不良時のサービス利用休止への協力依頼等、基本的な感染対策を続けている。
- ・感染症対策委員会の定期的な開催
係長以上の職員及び感染対策担当者からなる委員会を3か月ごとに開催
 - 6月18日 研修受講報告「社会福祉施設等における感染症対策」、研修・訓練の実施について協議
 - 9月17日 職員又は同居家族等及び利用者が罹患した場合の対応マニュアル見直しについて協議
感染症に係る業務継続計画(BCP)について協議
 - 12月17日 福祉施設等における感染症対策、まん延防止について協議
 - 3月18日 感染症対策指針の見直しについて協議
- ・研修の定期的な開催及び訓練の実施
新規採用職員(非常勤職員含む)には随時研修実施。
外部研修の受講案内を行い、随時受講した。
 - 11月11日 BCP(新興感染症等)シミュレーション訓練および感染症予防研修(再掲)
研修)感染症を予防する基礎知識と安全衛生対策について
講師:介護労働安定センター 渡部 一恵 氏
訓練)手洗い実施訓練
手洗いチェッカーを使用して洗い残しを確認し、今後の手洗いに活かす。

(14) 災害支援体制の推進

- ・県内社会福祉協議会災害時の相互応援協定に係る被災地職員派遣
なし(前年度:能登半島地震 中国ブロック社協職員派遣 1名)
- ・災害ボランティアセンターの設置・運営に係る研修
未受講者が優先されたため、受講できなかった。

(15) その他

- ・地域福祉センター・ドリーミー施設改修検討委員会の開催
1 階機械室、2 階浴室の改修及び後利用について検討するため、若桜町地域福祉センター・ドリーミー施設改修検討委員会を設置し、9 月 18 日に委員会を開催した。
令和7年度も委員会を開催し、改修計画案を策定し、町に提出する。

2. 地域福祉関係事業

(1) 生活支援体制整備事業(町受託事業) ※ 新規

【決算書 p48 ④福祉推進事業 6,590 千円(町受託金 6,368 千円)】

高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくことを目的に、令和6年度から新規受託した。生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)の設置、生活支援・介護予防サービスの提供体制構築に向けたコーディネートを行うとともに、多様な生活支援等サービス提供主体等が参画し、情報共有及び連携・協働による体制整備を推進した。

- ・個別支援 延べ178件(うち独居高齢者訪問・聴き取り138件、福祉相談・書類の確認等40件)

① 協議体

社会資源マップ「おたすけ冊子」の更新に向け課題や改善策を協議し、令和7年版を作成した(令和7年度に全戸配布)。

- ・8月7日 第1回支え愛のまちづくり推進協議会(え〜ど若桜)
- ・2月12日 第2回支え愛のまちづくり推進協議会(え〜ど若桜)

② サロン活動の推進、普及促進

地域のコミュニティの維持、再構築、閉じこもり防止を目的として各集落の小地域サロンに助成を行った。また、地域サロンへの訪問活動により実態把握及び相談支援を実施したほか、レク用品の貸出、感染予防用品の貸出を行い、継続可能なサロンの推進に努めた。

昨年度末に1団体(上町婦人会)が解散し、今年度から「神童の里・三倉サロン」が活動を開始した。

○サロンへの活動費助成 696 千円(前年度:726 千円)

- ・介護予防型「元気がええなあ！ いきいきサロン事業」1団体(前年度:1団体)

(年12〜24回、65歳以上中心、介護・認知症予防の内容)

3千円(3〜9人)、4千円(10〜19人)、5千円(20人以上)／回+継続加算1万円

- ・コミュニティ促進型「ご近所・みんなであつたかふれあいサロン事業」20団体(前年度:20団体)

(年6回以上、3人以上、会食・茶話会・レクリエーション等)

1万円(3〜9人)、2万円(10〜19人)、3万円(20人以上)／年+継続加算1万円

【小地域サロン】

集 落	団体名	集 落	団体名
新 町	なかよし会	赤 松	赤松自治会
山田町	わくわく健康サロン *介護予防型	香 田	香田老人会
上 町	上町サロン	長 砂	長砂ふれあいサロン

下 町	フィットネスサロン	湯 原	湯原老人クラブ
下 町	ひだまりサロン	渕 見	渕見生きいきサロン
西 町	西町たんぽぽの会	春 米	つくよねサロン
農人町	ささゆり会	大 炊	大炊サロンの会
三 倉	神童の里・三倉サロン	吉 川	吉川お楽しみサロン
浅 井	浅井自治会	中 原	ふれあいサロン中原
屋堂羅	やだら「生涯現役で頑張るぞ集団」	大 野	元気だで！大野
赤 松	赤松グランドゴルフ同好会	19 集落 21 団体(うち介護予防型*1 団体)	

【小地域サロン訪問活動】

開催日	団体名	開催場所	出席者
7/7	神童の里・三倉サロン	三倉公民館	門脇主事
7/10	西町たんぽぽの会	西町公民館	津崎主任、門脇主事
7/28	赤松自治会	赤松集落	津崎主任、門脇主事
8/16	赤松グランドゴルフ同好会	八幡広場	津崎主任、門脇主事
9/8	浅井自治会 *支え愛マップ更新	浅井公民館	門脇主事
10/6	浅井自治会	浅井公民館	津崎主任
10/9	西町たんぽぽの会	西町公民館	津崎主任 *高校生職場体験 1 名
11/18	大炊サロンの会 *支え愛マップ更新	大炊公民館	津崎主任、門脇主事 他
11/24	神童の里・三倉サロン	三倉公民館	津崎主任
3/28	ふれあいサロン中原	中原公民館	津崎主任

○サロン世話人交流会の開催

11 月 22 日 令和 6 年度ご近所ふれあいサロン世話人交流会 出席者 17 名

○サロンに関する相談支援

相談件数 4 件（前年度：4 件）

(2) 支え愛ネットワーク構築事業 (町受託事業)

【決算書 p48 ④福祉推進事業 1,587 千円（町受託金 1,577 千円）

前年度 5,887 千円（町受託金 5,886 千円）】

①支え愛マップの更新支援

町防災担当課、包括支援センター、社協の連携で集落の実態把握を行う体制を整備し、地域住民や関係機関と連携して地域の要配慮者の見守り・支えあい体制づくり、地域で支え合う人材の掘り起こしに取り組んだ。

- ・地域支援 相談 延べ 18 件（前年度：11 件）
- ・マップ更新及び自治会長訪問 10 集落（前年度：17 集落）

開催日	内 容	開催場所	出席者
5/21	支え愛マップ更新のためのまち歩き(屋堂羅、口屋堂羅)	屋堂羅公民館	津崎主任、門脇主事
5/25	支え愛マップ更新(屋堂羅、口屋堂羅)	屋堂羅公民館	津崎主任、門脇主事
7/11	支え愛マップ更新(上高野) ※自治会長訪問	ドリーミー	門脇主事

7/22	支え愛マップ更新（新町） ※自治会長訪問	ドリーミー	門脇主事
9/8	支え愛マップ更新（浅井）	浅井公民館	門脇主事
10/6	支え愛マップ更新（山田町） ※自治会のみで更新	ドリーミー	門脇主事
10/6	支え愛マップ更新（香田）	香田公民館	津崎主任、門脇主事
11/13	支え愛マップ更新のためのまち歩き（大炊）	大炊公民館	津崎主任
11/18	支え愛マップ更新（大炊）	大炊公民館	津崎主任、門脇主事
1/4	支え愛マップ更新（高野） ※自治会のみで更新	ドリーミー	門脇主事
1/4	支え愛マップ更新（上高野） ※自治会のみで更新	ドリーミー	門脇主事

③ 災害時における支え愛地域づくり推進事業（県社協及び町補助事業）

【決算書 p48 ④福祉推進事業 0 千円、前年度 100 千円（町補助・県社協助成各 50 千円）】

地域防災への意識向上、具体的な取組の支援を目的に、地域における福祉活動、防災への取組を支援する補助事業「災害時における支え愛地域づくり推進事業」の実施自治会を募集したが、応募がなかった。

- ・災害時要支援者対策促進事業 5 万円／集落（実施なし）
- ・災害時要支援者対策ステップアップ事業 10 万円／集落（実施なし）

【取組実施集落】

年度	集落等	年度	集落等
H25	中町、高野、あかまつ団地	R1	西町、大野（ステップアップ）
H26	大炊	R2	岩屋堂（ステップアップ）
H27	浅井	R3	なし
H28	なし	R4	なし
H29	中原、小船	R5	糸白見、根安
H30	上町、新町	R6	なし

④ 福祉や制度の分かりやすい情報提供

【決算書 p58 ⑨共同募金配分金事業（福祉育成・援助活動費） 99 千円（共同募金配分金 99 千円）】

前年度：107 千円（共同募金配分金 107 千円）

- ・定期的な広報誌（社協だより）の発行（隔月・年 6 回）
- ・ホームページ、SNS 等を活用した情報提供 随時

⑤ 小地域福祉活動の推進

要支援者の見守り支援を地域の支援者や行政等と支え愛マップづくりを通して実施し、見守り活動の推進を図った。また、福祉関係機関等と連携しながら支援を必要とする人や地域課題の情報共有に努めた。

○愛の輪訪問員活動

愛の輪訪問員登録者 14 名（前年度：18 名）

(3) ボランティアセンター事業の充実と強化

【決算書 p50 ⑤地域生活推進事業 5,341 千円（町補助金 5,111 千円）】

前年度 5,082 千円（町補助金 5,081 千円）】

関係団体、福祉施設等との連携や事業の充実を図るため、ボランティアセンター推進協議会を開催した。また、ボランティアコーディネーターの資質向上のため、研修を受講した。

- ・定期的な広報誌の発行とホームページ・SNS 等を活用した啓発

ボランティアだよりの発行(隔月・年6回)

- ・ボランティア活動の普及啓発とボランティア参加の促進
- ・ボランティア団体の活動支援、助成事業(福寿会、すずらんの会、赤十字奉仕団、ごごみの会)
- ・ボランティアの育成と支援
- ・夏休み体験ボランティアの実施 延べ7日、13人参加(前年度:延13日、27人参加)

○ボランティア登録者数(3月31日現在) 合計128人(前年度:134人)

団体 すずらんの会:13人、赤十字奉仕団:58人、福寿会:14人、ごごみの会:4人

個人 39人(配食サービス(調理・配達)ボランティア)

※ ボランティア保険加入団体

ボランティア・ロード「なかいち」:24人、氷ノ山自然ふれあい館:38人 鳥取県:25人

○雪かきボランティア

雪かきボランティア登録 個人5名、団体4団体(前年度:個人4名、団体2団体)

雪かきボランティア件数 相談9件、うち実動3件(前年度:相談3件、うち実動1件)

開催日	会議・活動名	開催場所	出席者
6/25	第1回若桜町ボランティアセンター推進協議会	ドリーミー	委員7人
9/17	令和6年度市町村社協ボランティアコーディネータースキルアップ研修会、市町村社協ボランティアセンター連携強化会議	倉吉市	津崎主任
10/29	第2回若桜町ボランティアセンター推進協議会	ドリーミー	委員6人
11/26	福祉避難所の設置・運営に関する実務研修	倉吉市	車井主事
3/3	令和6年度第2回市町村ボランティアセンター連携強化会議	倉吉市	車井主事

(4) 食事サービス事業

【決算書p50 ⑤地域生活推進事業 1,974千円(町補助860千円・県社協助成231千円)

前年度 2,114千円(町補助1,137千円・県社協助成252千円)】

ボランティアと連携し、毎週水曜日の昼食配達による食事支援と安否確認を実施した。

年度当初に事業のチラシを全戸配布するとともに、支援が必要と思われる方へ事業の案内を随時実施しているが、利用者の入院・入所等により利用者数が減少している。

弁当の値上げに伴い、令和6年度から利用者負担金を300円/食に改定した。

	令和6年度	前年度	備 考
実利用者数	78人	83人	75歳以上の独居高齢者、80歳以上の高齢者のみ世帯及び障がい等により必要と判断される世帯
配食回数	50回	50回	ボランティアによる調理 5回(5/22、6/26、10/23、11/27、3/26) 業者による弁当 45回
利用延べ食数	2,939食	3,622食	平均59食/回(前年度:72食/回) 利用者負担300円/食(前年度:200円/食)
登録ボランティア人数	39人	47人	配達ボランティア 23人(前年度:28人) 調理ボランティア 16人(前年度:19人)

(5) ボランティア団体等と協働した「サロンふれあいの里」(独居高齢者の集い)の実施

【決算書p58 ⑨共同募金配分金事業(老人福祉活動費) 240千円(共同募金配分金239千円)

前年度 117千円(共同募金配分金117千円)】

すずらんの会、食生活改善推進員及び若桜学園との協働により、独居高齢者の集いを11月28日(木)、池田・若桜地区合同(集合)で開催した(昼食(お弁当)、すずらんの会による踊

りや若桜学園児童とのレクリエーション、食生活改善推進委員によるプレゼント)。

欠席者にはすずらんのと後日訪問活動を行い、プレゼント(児童メッセージカード、靴下、箱ティッシュ付きティッシュカバー)を手渡した。

対象者 174 人　うち参加者 36 人、欠席者 138 人

(前年度：対象者 146 人　うち参加者 22 人、欠席者 124 人)

(6) 総合相談支援事業

関係事業所との情報共有と連携を図った様々な相談に対する「暮らしを支える」一体的な福祉相談窓口として、金銭管理や生活相談、困窮に対する相談など日常生活全般の相談支援を行った。特に包括支援センターやケアマネジャーと連携し、包括的に介護相談、金銭管理、困窮等の生活相談支援を行った。

町内では事業者ネットわかさにより福祉関係機関との連携を、町外では他社会福祉協議会と連携をとりながら相談支援を行っている。

生活困窮自立相談では、より幅広い福祉機関と会議等で連携構築に努めている。

・相談支援等　延件数 600 件(前年度：369 件)

　うち生活困窮者自立支援事業　244 件(前年度：196 件)

　　日常生活自立支援事業　132 件(前年度：159 件)

　　資金貸付事業　46 件(前年度：13 件)

　　生活支援体制整備事業　178 件(新規事業)

　　その他　0 件(前年度：12 件)

・介護相談、福祉相談・・・随時

・その他各種相談窓口の設置支援(月 1 回)・・・法律相談、行政相談、人権相談、消費生活相談、障がい者相談開設(町、相談支援センター　サマーハウス)

【決算書 p48　④福祉推進事業　82 千円(町補助金 81 千円)

　前年度　82 千円(町補助金 82 千円)】

法律相談は社協が町より事務を受託し、予約受付や担当弁護士への予約報告等を実施。

(7) 若桜町社会福祉大会の開催

【決算書 p58　⑨共同募金配分金事業(福祉育成・援助活動費) 227 千円(共同募金配分金 227 千円)

　前年度　339 千円(共同募金配分金 338 千円)】

町民の多くが福祉のまちづくりに対する理解を深めるとともに、社会福祉の一層の充実と発展を目指すこと、地域福祉功労者・団体の表彰や講演会による福祉の普及啓発を目的とした大会の開催にむけて、実行委員会を 2 回開催した。

開催日	会議名	開催場所	出席者
7/11	第 1 回若桜町社会福祉大会実行委員会	地域福祉センター	8 人
10/29	第 2 回若桜町社会福祉大会実行委員会	地域福祉センター	9 人

○開催概要　11 月 17 日(日) 10:00～11:30(若桜町公民館)

・若桜町社会福祉協議会会長表彰(社会福祉団体個人功労者 3 名、役員功労者 2 名、ボランティア功労者 1 名、社会福祉事業共助者(団体) 2 団体)

・講演　「災害時にもいきる日頃の支え合い　～能登半島地震を踏まえて～」

　講師　日野ボランティアネットワーク　代表　山下 弘彦 氏

・当日参加者数・・・来賓 3 名、表彰 6 名、実行委員 9 名(内表彰者 1 名)

　社協職員 6 名+作業所 3 名、作業所利用者 5 名

　一般参加 59 名(前年度：68 名)　総数=90 名

3. 困窮者支援関係事業

(1) 生活困窮者自立支援事業（町受託事業）

【決算書 p52 ⑥生活困窮者自立支援事業 6,686 千円（町受託金 6,551 千円）

前年度 6,337 千円（町受託金 6,336 千円）】

収入・生活費の課題や就労・仕事、債務・滞納等に関する相談に随時対応した。また、担当課職員が研修会等に参加し、相談支援の質の向上及び相談窓口体制の整備、関係機関との連携強化に努めた。

- ・新規相談 7 件（前年度：10 件）
- ・再相談 1 件（前年度：1 件）
- ・相談支援（連絡・報告・調整等含む） 延 244 件（前年度：196 件）

(2) 資金貸付事業

【決算書 p48 ④福祉推進事業 164 千円（県社協受託金 164 千円）

前年度 80 千円（県社協受託金 79 千円）】

①生活福祉資金貸付（県社協委託事業）

低所得者や高齢者、障害者の在宅福祉及び社会参加の促進を図るための資金貸付（就職に必要な知識・技術等の習得や高校、大学等への就学資金、介護サービス利用のための資金等）。

・生活福祉資金貸付

新規貸付相談 2 件（前年度：2 件）※ 食糧支援実施

新規貸付 0 件（前年度：0 件）

償還継続貸付 1 件（前年度：1 件）

・生活福祉資金新型コロナウイルス特例貸付（貸付対象世帯の範囲拡大や貸付要件を緩和）

○緊急小口資金（緊急かつ一時的な生計維持のための生活費貸付）

貸付件数 12 件（うち償還免除 5 件、完済 2 件）（前年度：うち償還免除 5 件、完済 1 件）

○総合支援資金（生活の立て直しまでの一定期間（3 か月）の生活費の貸付）

貸付件数 17 件

うち初回貸付 9 件（うち償還免除 2 件、完済 1 件）（前年度：同左）

延長貸付 4 件（償還中）（前年度：同左）

再貸付 4 件（うち償還免除 1 件）（前年度：償還据置中）

生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援業務について、新型コロナウイルス特例貸付の借受世帯への丁寧な相談支援等が求められており、鳥取県社協と連携しながら相談支援を実施した。また県社協主催の研修に参加し、他町社協等の取り組み例などを共有した。

相談支援件数 46 件（前年度：13 件）

②福祉金庫資金貸付（実施主体 若桜町社会福祉協議会）

【決算書 p46 ③資金貸付事業 0 千円、前年度 0 千円】

生活困窮者に対し必要な応急援護資金（生業資金・生活資金・教育資金）の貸付。

新規申請 0 件（前年度：0 件）

償還中 1 件（前年度：1 件）

償還中の 1 件については償還ができていないため、各関係機関と連携し相談支援等を実施した。

・督促状の送付（R6.5.30、R7.1.23）

・R7.3.17 市内の自宅へ職員 2 名で訪問するも本人不在。返済予定表と債務承認書、相談受付のメモを投函した。

(3) フードサイクル事業

鳥取県生活協同組合等と連携し、食品提供をいただき生活困窮者に緊急的な食糧支援を実施した。
5 件（前年度：1 件）

(4) えんくるり事業の充実

【決算書 p56 ⑧えんくるり事業 17 千円、前年度 5 千円】

県内社会福祉法人の協働による、生活困窮者に対する緊急的な相談支援事業。
生活困窮者に対する緊急的な支援対策として、総合的な相談窓口の開設及び運営を行った。
相談 1 件（前年度：1 件）
利用 1 件（仕事場までの交通費支給）（前年度：0 件）

(5) その他の事業

・厚生援護事業の実施（行路病傷人援護事業） 利用 0 件（前年度：0 件）

4. 権利擁護関係事業

(1) 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

【決算書 p54 ⑦日常生活自立支援事業 538 千円（県社協受託金 477 千円）

前年度 568 千円（県社協受託金 510 千円）】

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助や日常生活費の管理等を行った。

福祉事務所、介護支援専門員、他制度の担当者等と連携し、利用者に対して金銭管理及び生活支援を伴走的に行った。

また、日常生活自立支援事業の契約の締結、支援計画の適切さ、利用希望者の判断能力について確認を行う内部審査会を開催した。

専門員：1 人、担当職員：2 人、生活支援員登録：6 人

利用者：6 人、相談援助件数：延べ 132 件（前年度：4 人、159 件）

開催日	会 議 名	開催場所	出席者
4/19	日常生活自立支援事業 担当者研修	倉吉市	津崎主任
5/30	第 1 回日援専門員連絡会	鳥取市	津崎主任
7/18	県社協日援事業巡回訪問	鳥取市	県社協 4 名、中村課長、津崎主任
7/25	第 2 回日援専門員連絡会	鳥取市	津崎主任
7/31	成年後見制度関係機関研修会	鳥取市	平木係長
9/3	成年後見実務者研修会	鳥取市	津崎主任
9/26	第 3 回専門員連絡会	鳥取市	津崎主任
10/7	第 1 回内部審査会	ドリーミー	外部委員 2 名、囃局長、岡本次長、守部主任、中村課長、津崎主任
10/17	生活支援員地区別研修会	鳥取市	生活支援員 1 名、津崎主任
10/31	利用料に関する意見交換会	倉吉市	津崎主任
12/24	第 2 回内部審査会	ドリーミー	外部委員 1 名、囃局長、岡本次長、守部主任、中村課長、津崎主任
1/22	権利擁護セミナー	倉吉市	生活支援員 2 名、中村課長、津崎主任
1/30	第 5 回専門員連絡会	鳥取市	津崎主任

3/24	第3回内部審査会	ドリーミー	外部委員2名、囃局長、岡本次長、守部主任、中村課長、津崎主任
------	----------	-------	--------------------------------

5. 福祉教育推進関係事業

(1) 教育機関と連携した福祉学習や体験ボランティア事業の推進

○夏休み体験ボランティア事業

若桜学園と連携して、生徒の希望に応じた夏休み体験ボランティアを企画し、事前説明会には生徒59人が出席した。延べ7日で13人が参加した。(前年度：延べ13日、27人)

○わかさ学園総合学習の受入れ

7/18、10/7、3/21 7年生がデイサービスを訪れ、利用者と交流を行った。

12/5 4年生14人が施設見学(座浴体験、福祉車両・車椅子体験、社協事業紹介)

(2) 福祉教育推進校の設置

【決算書p58 ⑨共同募金配分金事業(児童・青少年福祉活動費) 80千円(共同募金配分金 80千円)

前年度 80千円(共同募金配分金 80千円)】

○福祉教育推進校(若桜学園)へ助成 80,000円

○学園の取り組み内容

啓発活動・仲間づくり・・・児童生徒会活動、社会を明るくする運動

福祉体験・交流活動・・・WAKASAプロジェクト職場体験、若桜氷ノ山寿大学との交流会、
社協「夏休み体験ボランティア、デイサービス利用者との交流、
サロンふれあいの里」など

環境美化活動・・・縦割り班清掃活動、美化栽培活動

手話の普及・・・各学級で手話ハンドブックの活用

募 金 活 動・・・緑の募金、赤い羽根共同募金の声かけなど

あいさつ運動・・・生徒会執行部、代表委員会を中心に実施

(3) 地域住民の福祉教育の推進及び福祉の担い手の育成

・アウトリーチ活動(集落訪問等)の実施

支え愛マップづくりや小地域サロンの訪問を通して、集落への訪問を実施した。

・ボランティアセンター事業の実施

・地域での学習会や研修会の支援、住民ニーズに沿った講座等の開催

6/29 石川県・穴水町災害ボランティアセンター運営支援報告会(糸白見)

10/6 石川県・穴水町災害ボランティアセンター運営支援報告会(浅井)

6. その他の地域福祉事業等

(1) その他事業

①歳末助け合い事業

【決算書p58 ⑨共同募金配分金事業(歳末たすけあい配分金事業) 329千円(共同募金配分金 328千円)

前年度 321千円(〃 320千円)】

慰問・激励活動により、要援護者の安否確認と実態の把握を行い、援助・支援に結びつけることを目的として、年末に実施した。

【訪問人数】 75歳以上のひとり暮らしの方 138人(前年度：154人)

障害者手帳所持者でひとり暮らしの方 4人(前年度：4人)

【慰問物資】 商工会商品券500円分、お楽しみセット(そば、おしるこ、みそ汁、生芋こんにゃく)

(前年度：商工会商品券(1,500円分)とお菓子セット(若ざくらふれあい作業所))

②高齢者福祉事業(敬老祝い事業)・・・90歳(敬老の日を基準)の方にお祝い金5千円

【決算書p50 ⑤地域生活推進事業 142千円 前年度 155千円】

贈呈実績 28人(前年度：31人)

③生活お助け事業・・・4月から料金及び事業内容を一部見直し

利用者が自立した生活を営むことが出来るよう、公的なサービスで対応できない狭間のサービスとして独自事業の「生活お助け事業」を実施し、切れ目のない支援に努めた。利用促進・広報のため、社協だより4月号にチラシを挟み込み全戸配布した。

・対象者 高齢者(単身・高齢者のみ世帯)、障がい者、支援が必要と判断される方

・内容 軽微な生活支援サービス

(1) ゴミ出し、電池・電球の交換等の軽微な生活支援

(2) 買い物代行(※買い物範囲は町内及び旧八東町)

(3) その他社協会長が必要と認める生活支援

・料金 15分当たり250円(職員1人当り)

・相談件数 5件(前年度：2件)

・新規契約 3件(〃：1件)

・利用件数 9件(〃：2件)(買い物支援、布団の交換)

・その他 主な財源は寄附金事業

④ふるさと情報発信事業(毎月)・・・登録11件(前年度：12件)

希望される高齢者世帯及び障がい者世帯を対象に、町外在住家族への若桜町情報を毎月発送(社協だより、ボランティアだより、町報、町内イベント広報など)

社協及び町ホームページで閲覧可能なため、令和7年2月号送付をもって事業廃止。

⑤子育て支援事業

【決算書p58 ⑨共同募金配分金事業(児童・青少年福祉活動費)138千円(共同募金配分金138千円)

前年度 81千円(共同募金配分金81千円)】

○新生児のお祝い事業・出生祝い金5千円を贈呈

6人(広報わかさ4月号～3月号掲載分)(前年度：9人)

○入学児童のお祝い事業・・・若桜学園1年生にお祝い品(クレパス、引き出し、朝顔セット等)を贈呈

14人(前年度に購入し、今年度当初に贈呈)(前年度：11人)

⑥福祉団体への支援

町から補助を受けて福祉団体の支援を行うと共に、協働して福祉の向上を図った。

○事務局運営支援

老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、遺族会

○福祉団体への助成事業

【決算書p50 ⑤地域生活推進事業 268千円 前年度 358千円】

老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、民生児童委員協議会、心身障害(児)者育成会、遺族会

(2) 各種貸出と斡旋事業

・車いすの短期貸出と介護用品の斡旋

車椅子短期貸出 6件(前年度：12件)

・葬祭用品斡旋事業の実施

棺の斡旋(@18,500) 1件(前年度：5件)

位牌の斡旋(@1,200) 1件(〃：5件)

棺、位牌の運搬(@1,000) 0件(〃：1件)

(3) 鳥取県共同募金会若桜町共同募金委員会への協力、支援

【決算書 p58 ⑨共同募金配分金事業 1,092 千円、前年度 1,104 千円】

- ・共同募金運動・・・(一般募金、歳末助け合い募金)
- ・若桜町共同募金委員会における運営委員会及び審査委員会の開催
- ・一般募金、歳末助け合い募金による事業費の配分

開催日	会 議 名	開催場所	出席者
4/23	若桜町共同募金委員会監査会	ドリーミー	会長、監事2名、中村課長、平木係長
4/30	令和6年度鳥取県共同募金会若桜町共同募金委員会第1回運営委員会	ドリーミー	委員6名、中村課長、平木係長
6/6	令和6年度鳥取県共同募金会若桜町共同募金委員会第2回運営委員会及び第1回審査委員会	ドリーミー	委員8名、中村課長、平木係長
8/20	令和6年度第1回市町村共同募金委員会担当国会議	倉吉市	平木係長
9/4	令和6年度鳥取県共同募金会若桜町共同募金委員会第3回運営委員会	ドリーミー	委員5名、中村課長、平木係長
2/26	令和6年度第2回市町村共同募金委員会担当国会議	オンライン	平木係長
3/6	令和6年度鳥取県共同募金会若桜町共同募金委員会第4回運営委員会及び第2回審査委員会	ドリーミー	委員8名、中村課長、平木係長

7. 高齢者や障がい者に対するサービス提供事業者としての居宅介護活動の充実と推進

係別定例会（毎月）を開催し事業の検証や改善等について協議したほか、積極的な研修の受講、他事業所への視察研修等を行い、法令を遵守した事業執行とサービスの質の向上を心がけるとともに、業務の効率化、経費節減、加算の取得、補助・受託事業による財源確保等の経営改善に努めた。

また、今年度から公的サービスの狭間のニーズに応える「寄り添いサービス」（介護保険外自費サービス）を創設し、支援が必要な高齢者等の在宅生活を支援した。

介護サービス事業では、町内介護保険事業者等との連携会議（事業者ネットわかさ）への参加等により他の関係機関との連携や情報収集を行い、公的サービスのみならず各種インフォーマルサービスとも連携した生活全般にわたる支援を行った。介護報酬改定により通所介護事業及び居宅介護支援事業の基本報酬は微増したものの、訪問介護事業については基本報酬が約2%減額となり、厳しい経営が続いている。

就労継続支援B型事業は、報酬改定により平均工賃月額に応じた報酬体系となったほか、手厚い人員配置ができるよう人員配置「6：1」の報酬体系が創設されたことから、報酬の増加につながっている。利用数も前年に比べ約1割増加しており、訓練等給付費収入は約2割増となった。

令和5年度末に通所介護事業の看護師（正職員）1名が退職したため募集しているものの応募がなく、正職員1名と非常勤職員2名体制が続いている。特に看護師や居宅介護支援員をはじめとする有資格者の処遇改善を図って人材確保につなげるため、令和7年度からの処遇改善加算取得に向けた準備を進めた。

事業活動資金収支は、介護保険事業拠点区分で約600万円の赤字となったが、障がい者福祉サービス事業拠点区分は約550万円の黒字となったため、障がい者福祉サービス事業から介護保険事業へ315万円の繰入を行った。

(1) 介護保険事業

高齢者や障がい者が安心して在宅で自立した生活を営むことができるよう、関係機関（包括支援センター、医療機関、行政、介護施設等）と連携及び情報共有を行い、公的サービスのみならず

各種インフォーマルサービスとも連携して利用者視点に立った介護保険サービスの提供に努めた。
係別定例会（毎月）を開催し事業の検証や改善等について協議したほか、積極的な研修の受講、他事業所への視察研修等を行った。

① （基準該当）訪問介護事業、若桜町訪問介護相当サービス

【決算書 p60～61 ⑪訪問介護事業 11,888 千円（町補助 3,650 千円）

前年度 10,843 千円（町補助 4,977 千円）】

職員の資質向上と収入増のため、内部研修や訪問介護系の情報共有に積極的に取り組み、4 月から特定事業所加算（Ⅱ）（10%）を取得した。利用件数は約 1 割減少したものの、介護保険事業収入は微増している。

在宅介護離れや施設入所の増加などが要因となり、介護度の高い方の利用割合が低下し、報酬単価の高い身体介護サービスが減少している。

昨年度は約 130 万円の黒字（訪問介護サービス確保対策事業補助金を除く実質赤字額は約 370 万円）となったが、前年度実績に基づき交付される同補助金が前年度より約 130 万円減額となったこと、法人運営事業で負担していた一部経費を各事業で負担するよう改めたため支出が増加したこと等から、約 90 万円の赤字となった。（同補助金を除く実質赤字額は約 450 万円）

- ・実利用者 54 人（うち介護 33 人、支援等 21 人）
（前年度 47 人（うち介護 30 人、支援等 17 人））

② 通所介護事業、若桜町通所介護相当サービス （定員：35 人）

【決算書 p64～65 ⑫通所介護事業 44,690 千円（町補助 1,133 千円）

前年度 46,665 千円（町補助 1,315 千円）】

新型コロナウイルスの感染防止に努めながら、若桜学園児童やわかさこども園園児等、外部との交流や季節に応じた年中行事を実施した。また、よりよいサービスの提供に資するため、利用者アンケートと他通所介護事業所の視察研修を 7 月に実施し、12 月にアンケート結果の配布を行った。

利用件数は全体で 1 割強減少しており、特に要支援は 2 割減少した。頻回に利用されていた方の入院・入所・転出・ご逝去のほか、要支援から自立に移行される方もあり、例年以上に減少が大きかった。

- ・実利用者 71 人（うち介護 53 人、支援等 18 人）
（前年度 90 人（うち介護 59 人、支援等 31 人））

③ 居宅介護支援事業

【決算書 p68 ⑬居宅介護支援事業 9,616 千円（町受託金 1,809 千円）

前年度 8,134 千円（町受託金 1,906 千円）】

町民が住み慣れた町で在宅生活を継続していけるよう支援するとともに、新規ニーズの発掘と適切で迅速な相談支援ができるよう、関係機関との連携に努めた。1 名が介護支援専門員更新研修を修了した。

利用件数は微減したが、今年度から入院時情報連携加算（Ⅰ：250 単位またはⅡ：200 単位）を算定していることもあり、介護報酬は微増した。要介護認定調査の受託件数は、介護認定有効期間の上限が延長されたため減少した。

町内に有料老人ホームが開設されたこともあり、馴染みの環境での生活の継続を希望する方が増加している。依然施設への入所傾向が強く、新規で要介護者を受け持ったからの在宅期間は短い傾向にある。町内有料老人ホームに入居された利用者で系列の居宅介護支援事業所に変更された方や、施設入所された方もあったものの、大きな減少にはつなげていない。

	(前年度)
要介護認定調査（町受託事業）	53 件（61 件）
要介護者	実利用者 90 人（86 人）
要支援者（町受託事業）	実利用者 33 人（41 人）
事業対象者（ 〃 ）	実利用者 7 人（7 人）

④ 寄り添いサービス（介護保険外自費サービス） ※新規

公的サービスの狭間のニーズに応えるため、訪問介護だけでは対応できないニーズに応える寄り添いサービスを4月に創設し、生活お助け事業と合わせて生活全般を支えるサービスの充実を図った。

・実利用者 1 人（買い物支援）

（2） 障がい者総合支援等事業の充実

サービスの質を向上させるため、係別定例会（月1回）により事業の検証や改善について協議しているほか、東部4町障がい者地域生活支援協議会、障がい福祉連絡会、障がい者連絡会（町、東部4町）への出席、県発達障がい者支援センターの発達支援員による障がい特性についての学習会への参加等を通して、職員の資質向上や業務改善、関係機関との情報共有、連携強化等に取り組んだ。

① 障がい者福祉サービス事業・・・居宅介護サービス（ホームヘルプ）、日中一時支援事業 ○居宅介護等事業（ホームヘルパーによる支援事業）

【決算書 p70 ⑭障がい者総合支援事業 877 千円 前年度 1,213 千円】

在宅で介護を必要とされる方に、障がい福祉サービス計画に基づいて調理の見守り・指導、洗濯や掃除等の家事援助等の生活全般にわたる支援を行い、介護者の介護負担軽減を図った。

頻回に利用されていた方の入院・入所のため、前年度に比べて利用件数は約3割、実績額は約4割減少した。

・実利用者 3 人（前年度：4 人）

○日中一時支援事業 ※若桜町委託事業

【決算書 p70 ⑭障がい者総合支援事業 158 千円（町受託金 157 千円）

前年度 158 千円（町受託金 157 千円）】

日中における活動の場を提供し、家族の介護負担の軽減を図った。

・実利用者 1 人（前年度：1 人）

② 若ざくらふれあい作業所（就労継続支援B型事業）（定員：15 人）

【決算書 p72～73 ⑮若ざくらふれあい作業所 29,532 千円、前年度 26,806 千円】

実利用者 17 人（前年度：16 人）

通常の事業所に雇用されることが困難な障がいのある方に就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行った。

前年度に比べ利用数が1割増えたことに加え、報酬改定により基本報酬単価が増額となったため、自立支援給付費収入は約2割増加した。

就労支援事業収入は全体では約2割増増加した。製品販売事業収入は約2割増加しており、生芋こんにゃくの販売量増加（約1割）や桜オートバイ神社等への缶バッジ販売、ねりんピック参加記念品用の兔ストラップ販売等が主な要因である。受託加工事業収入は

約1割増加したが、これまで受託していた事業所からの受託量が減少傾向であるため、ワークコーポ鳥取（共同作業場）から随時仕事を受注した。

平均工賃は30,619円で、前年度に比べ766円低下した。（就労支援事業収入は約100万円増加し、利用者工賃支出は約26万円増加したが、原材料費と経費の増加や利用者が1名増えたため）

生芋こんにやくを真空パックする真空包装機（1台、2015年購入）が老朽化したため、1月に更新した。これにより、作業時間の短縮と作業負担の軽減が図れた。

【受託加工】 事業活動収入：1,763千円、事業活動支出：1,763千円

（前年度 1,562千円、 1,562千円）

電気部品加工、衣類の糸切（町内事業所）、フルーツネット加工（町外事業所）等を受託した。

【製品販売】 事業活動収入：4,315千円、事業活動支出：4,315千円

（前年度 3,525千円、 3,531千円）

生芋こんにやくや自主作品（兔ストラップ、缶バッジ、腕筒等の布製品）を作成し、道の駅、鳥取市内のスーパー、イベント（春色まつり等）等で販売した。3月に販路を拡大した（マルイ薬師町店）。

【受託作業】 事業活動収入：331千円、事業活動支出：332千円

（前年度 322千円、 322千円）

公共施設や事業所に出向いて作業を行った。（町営プール・岩屋堂公衆トイレの清掃、鳥取市内スーパーの売価チェック等）

【その他の事業】 事業活動収入：136千円、事業活動支出：136千円

（前年度 118千円、 117千円）

町内の皆様にご協力いただき、アルミ缶、新聞、段ボール、雑誌の回収を行った。

【地域交流・余暇活動】

ミニ運動会などにより地域との交流を行ったほか、就労の時間を充実させるため、余暇活動を行った。11月には、研修旅行として兵庫県豊岡市のB型事業所や工場の見学を実施した。

＜就労継続支援B型事業＞

開催日	事業名	開催場所	参加者数
5/12	若ざくらふれあい作業所家族会総会 芋植え	若桜町内	17人
5/19	若桜の春色祭りバザー	若桜町内	8人
6/15	第41回ふれあい広場バザー	鳥取市	7人
6/14	はーとふるとっとり inFDK（振興センター委託販売）	岩美町	—
6/28	はーとふるとっとり inFDK（振興センター委託販売）	岩美町	—
9/13	はーとふるとっとり inFDK（振興センター委託販売）	岩美町	—
7/20	若桜町納涼花火大会バザー	若桜町内	7人
7/28	部落解放若桜町研究集会バザー	若桜町内	5人
8/4	桜オートバイ神社バザー	若桜町内	7人
9/28	ノウフクマルシェわったいなバザー	鳥取市	6人
10/6	こんにやく芋掘り	ドリーミー・赤松	14人
10/11	作業所ミニ運動会	第1町民体育館	25人
10/19	ねんりんピック	布勢運動公園	9人
10/20	ねんりんピック	第1町民体育館	1人
10/21	ねんりんピック	第1町民体育館	4人

10/27	因州若桜鬼っこまつりバザー	若桜駅前	8 人
11/1	研修旅行	兵庫県豊岡方面	24 人
11/3	若桜町部落解放ふれあい祭りバザー	ふれあい交流センター	5 人
11/9	手をつなぐ育成会スポーツ祭	市民体育館	7 人
11/17	若桜町社会福祉大会バザー	若桜町公民館	9 人
12/3	はーとふるとっとり inF DK (振興センター委託販売)	岩美町	—
12/14	作業所忘年会	氷太くん	23 人
12/17	はーとふるとっとり inF DK (振興センター委託販売)	岩美町	—
12/23	フラワーアレンジメント	ドリーミー	19 人
1/31	料理講習会	若桜町公民館	16 人
2/2	西日本雪合戦大会バザー	ふれあい広場	7 人
2/7	はーとふるとっとり inF DK (振興センター委託販売)	岩美町	—
2/28	はーとふるとっとり inF DK (振興センター委託販売)	岩美町	—
3/15	フライングディスクスポーツ交流会	八頭町	9 人

8. 地域福祉センター・ドリーミーの管理運営事業（指定管理事業）

○研修会、訓練の実施

【消防関係】

・9 月 17 日 総合訓練

職員及び利用者を対象として、消防への通報や駐車場への避難、初期消火訓練等を行い、八頭消防署若桜出張所職員に講評していただいた。

・3 月 21 日～28 日 避難訓練および消火訓練

職員を対象に、動画視聴（消火器の使用方法、大地震発生時の対応について）と自衛消防隊編成、役割の確認、避難経路、消火器の設置箇所の確認を実施した。

○避難所対策

・災害時における避難所としての対策の整備

○指定管理者として適切な地域福祉センターの運営

2 階空調設備、車庫雨漏り、通所介護調理場の換気扇等の修繕を行った。

4 月から、入浴される要支援・総合事業対象者の通所介護利用者及び作業所利用者から浴室使用料として 100 円／回をいただくこととした。

○災害時における福祉避難所・一般避難所の設置運営

今年度は避難所設置なし。